



富良野支局
〒076-0032
富良野市若松町14番1
0167・23・2019
FAX23・2796

旭川支社
〒070-8720
旭川市4条通9丁目
旭川北洋ビル
報道 0166・21・2516
FAX21・2517
販売 21・2533
広告 21・2539

金曜日は、北海道新聞の
生活情報フリーペーパー

道新 **ななかまど**

毎週金曜日・約17万2千部発行!

「やってみみたい」が大事

南富良野高 南極隊参加ガイド講演

【南富良野】第65次南極地域観測隊に参加した町内在住のアウトドアガイド、金村孔介さん(45)による講演会が南富良野高で開かれた。全校生徒に加え、町内外の参加者計約90人が耳を傾けた。

同高が力を入れるアウトドア教育の一環で、5月31日に開催。宮城県出身の金村さんは2005年にNPO法人どころ南極での体験を語った金村孔介さん



野外学校に入り、登山や

カヌーなどのガイドを務めている。23年秋から、南極地域観測隊夏隊の野外観測支援を担った。

金村さんが南極に関心を抱いたのは、南極観測隊員を経験した先輩ガイドの話聞いたのがきっかけといい、「『やってみみたい』という好奇心は大事」と強調した。今回

の研究目的は100万年前の気候を知るために氷の掘削作業を行うことで、金村さんは野外観測支援を担当。「危険を把握するというガイドの仕事を生かした」とし、研究者らが道に迷わないよう衛星利用測位システム(GPS)を使った道案内を行ったり、テントでの生活術をアドバイスしたりしたと伝えた。ほかにも南極での住まいや当時の食事などを紹介した。

講演を聞いた南富良野高1年堀井琉生さん(15)は「南極のことをあまり知らなかったが、話を聞いて興味を持った。気温がかなり寒い場所で驚いた」と話していた。

(千葉佳奈)